

Ⅲ-20. 芸術体育教育専攻 音楽教育分野履修基準（中学校対応）

科目区分		科目名				単位数			
		1年	2年	3年	4年				
教養科目		「教養科目履修基準」参照				26			
専 門 科 目	教 職 課 程 コ ア ス 目	教科に関する 専門科目 (小)	初等国語	2	● 初等音楽	2	4		
			初等社会	2	初等図画工作	2			
			初等算数	2	初等家庭	2			
			初等生活	2	初等体育	2			
	初等英語		2	初等理科	2				
	教科に関する 専門科目 (中)	● 音楽理論	2	● 作曲・編曲法	2	● 合奏Ⅱ	1	20	
		● ソルフェージュ	1	● 声楽Ⅰ	1				
		● 器楽Ⅰ	1	● 器楽Ⅱ	2				
	教科指導科 目(小)	● 合唱Ⅰ	1	● 声楽Ⅱ	2			12	
				● 合唱Ⅱ	1				
教科指導科 目(中)	● 合奏Ⅰ	1	● 指揮法	1			8		
	● 音楽史	2	● 日本音楽	2					
教育の基礎的 理解に関する 科目	初等国語科教育法	2	初等社会科教育法	2	※初等〇〇教育法は、 音・図・体のうち2科 目以上4単位以上を 含むこと。		12		
	初等算数科教育法	2	初等理科教育法	2					
初等家庭科教育法	2	初等音楽科教育法	2						
初等体育科教育法	2	初等図画工作科教育法	2						
初等英語科教育法	2	初等生活科教育法	2						
道徳・生徒指導 等に関する 科目	● 中等音楽科教育法Ⅰ	2	● 中等音楽科教育法Ⅱ	2	● 中等音楽科教育法Ⅳ	2	8		
	● 中等音楽科教育法Ⅲ	2							
教育実践に関 する科目	● 教職論	2	● 教育の制度・経営と社会	2			10		
	● 教育の基礎と理念	2	● 特別支援教育	2					
道徳・生徒指導 等に関する 科目	● 道徳の理論と指導法	2	● 教育課程と教育方法	2	● 教育相談の理論と方法	2	10		
			● 生徒指導・進路指導の理論と方法	2	● 特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2			
教育実践に関 する科目	● 基礎実習	1		● 教育実習事前事後指導	1	特別支援教育実習	3	8	
				● 教育実習(中等)Ⅰ	4	教育実習(初等)Ⅱ	2		
教育実践に関 する科目						教育実習(初等)Ⅲ	2	8	
						教員採用直前実習	1		
教育実践に関 する科目						● 教職実践演習(幼・小・中・高)	2	8	
教育実践に関 する科目								6	
教育実践に関 する科目	教育フィールド研究Ⅰ	2	教育フィールド研究Ⅲ*(介護等体験含)	2	4(選必)		6		
	教育フィールド研究Ⅱ	2	教育フィールド研究Ⅳ*	2					
教育実践に関 する科目	へき地教育論	2	へき地教育指導法	2	● 学校臨床研究	2	教職実践研究	2	14
	● 音楽教育研究基礎論Ⅰ	2	音楽教育学演習Ⅰ	2	音楽教育学演習Ⅲ*	2	音楽教育学演習Ⅴ*	2	
教育実践に関 する科目	● 音楽教育研究基礎論Ⅱ	2	音楽教育学演習Ⅱ	2	音楽教育学演習Ⅳ*	2	音楽教育学演習Ⅵ*	2	14
研究発展科 目	● 音楽文化論Ⅰ	2	音楽文化論Ⅱ	2	器楽Ⅳ	2	音楽教育学特講Ⅰ*	2	12
			器楽Ⅲ	1	器楽Ⅴ	1	音楽教育学特講Ⅱ*	2	
研究発展科 目		上記科目の他、学生の自主的プログラムに基づき選択により履修するものとする。 (対象科目)						2	12
		①専攻履修基準(他専攻を含む)に掲げる授業科目 ②別表「研究発展科目対象科目一覧」に掲げる授業科目 ③全学連携により開設する科目又は他の校等で開設する授業科目							
卒業研究						● 卒業研究	4	4	
卒業に必要な単位数								134	

- ・「●」の付いている科目は必修科目である。
- ・同一科目名の後のローマ数字は履修段階を示し、その順序に従って履修しなければならない科目である。(例「～Ⅰ」を履修した後に、「～Ⅱ」を履修することができる。)
- ・ローマ数字の後に「\*」を付している科目は、その順序に従わなくても履修できる科目である。(例「～Ⅰ」を履修せずに、「～Ⅱ」を履修することができる。)